

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	囲碁文化振興事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等	文化芸術振興基本法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input checked="" type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： まちづくり振興財団 】		
目的・目標		事業の概要	
囲碁に関連した各種イベントを開催することにより、囲碁文化の向上と振興が図られています。		囲碁文化の向上と振興のため、各種イベントなどを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	囲碁普及事業数				単位	事業
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	25	21	21	23		
	実績	25	19	22			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	囲碁普及事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	9800	8800	8800	9000		
	実績	8503	10626	10837			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
湘南ひらつか囲碁まつりを開催するとともに第4回囲碁サミット(日向市)に参加し「囲碁のまちひらつか」を全国に発信しました。また、女流棋聖戦の誘致、各種囲碁大会、女性・子どもを対象とした囲碁教室等、各種イベントの内容を充実することにより、囲碁文化の向上と振興を推進しました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民ニーズや「文化芸術振興基本法」による規定、文化振興の安定性、継続性の確保の観点から必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業展開の改善を図りながら、有効性を高めていくことが必要です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	本市の貴重な文化資源である囲碁文化の普及、振興の観点から目的、対象、内容ともに妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業経費は、更なるコスト削減に取り組む必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 囲碁人口の拡大を図るため、普及事業を推進するとともに、受益者負担の見直しを図り、併せて事務経費でのコスト削減に取り組んでいく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		各種イベントなどの実施	各種イベント等の実施	各種イベント等の実施	各種イベント等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	8,176	9,529	8,745
	一般財源	14,422	0	5	1,028
事業費 (A)		14,422	8,176	9,534	9,773
執行率 (%)		91.28	86.06	91.85	
内訳	職員 (人)	0.50	0.40	0.40	0.40
	再任用 (人)	0.05	0.15	0.20	0.20
人件費 (B)		4,351	3,815	3,914	3,887
フルコスト (A+B)		18,773	11,991	13,448	13,660

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針 今後も、効率的な事業実施の検討や事務経費の見直しを行い、事業効果を高めていきます。また、囲碁文化の裾野を拡大するため、イベント参加者増加を目指した積極的なPR活動を展開します。
課長コメント 囲碁文化の普及・振興を目的として、今後も継続するとともに各種イベントの数、参加者の拡大に努め、囲碁人口の裾野の拡大を図っていきたくと考えています。